



サクラ

は

は

さてマスター  
次はどうやって遊ぼつか？  
なんかリクエストある？  
特に無いならまた  
好き勝手に遊んじやうだけ  
だから無理にリクエスト  
しなくてもいいけどw

は

は

ビ  
ク  
ッ

は



ええそれはもう  
バツチリですよ♡

ほ

マスターとは仲良く  
やれていたみたいです  
特に心配しては  
いませんでしたが

あ カエデ姉さま  
おかえりなさい♪

ほ

ほ



ふふ  
それはタイミングが  
悪い時に戻ってきて  
しまいましたね

そーなんですよ  
もうマスターと遊ぶのが  
楽しくて止められ  
なかったんですよね♪  
次どうしようかって  
マスターと相談してた  
ところなんですよw

それにしてもマスターは  
随分と遊んでもらって  
いたみたいですね？



え？  
そんなことって  
あるんですか？

ええ特には  
しいて言えば  
少し費用がかさんだ  
ぐらいでしょうか

そういえば姉さまの方は  
身体の調整は問題  
無かったですか？



そのうち貴方も  
付けてもいいですよ

うわあ、そんなの  
あるんですね、w  
やばあ♥

ぶるんっ

見てわかるのは  
思いますが、『特注品』を  
付けて来ましたからね  
マスターを満足  
させるためには  
必要なことですから



良かったねマスターw  
あんなスゴいの  
突き刺して貰えるんだってw  
羨ましいなあw

では早速ですが  
『コレ』を使って  
みましようか  
マスターもきっと  
楽しみにしていたと  
思いますしね

ビキッ



改めて確認してみてもうどうでしょうか？  
私の新しいおちんぼは

マスターにもご満足  
頂けるように出来る限り  
巨大なモノにしてみましたよ

はぁんっ

はぁ

はぁ

はぁ

さあどうぞ  
腰を浮かせて自ら  
受け入れてみてください



ふふ  
おちんぼが大きくて  
挿入するのも一苦労ですね

はい そのまま  
私のおちんぼに全体重を  
かけて座り込んで下さい

131

131

131

おや流石のマスターも  
このサイズはまだ  
厳しかったでしょうか？

これは失礼いたしました

三千三千ッ

ギキッ

カカカッ

まあ先端が挿入ったなら  
特に問題ないでしょう

私もお手伝いしますから  
突っ込んでしまいいましょうね



ほらちゃんと挿入しました  
流石ですよマスター

あはは  
私達の腕より太いおちんぼが  
全部挿入っちゃうんだから  
スゴイよマスターw

それじゃ私はマスターの  
上の穴でも使って  
順番待ちしようかな♡

ずん

ずん

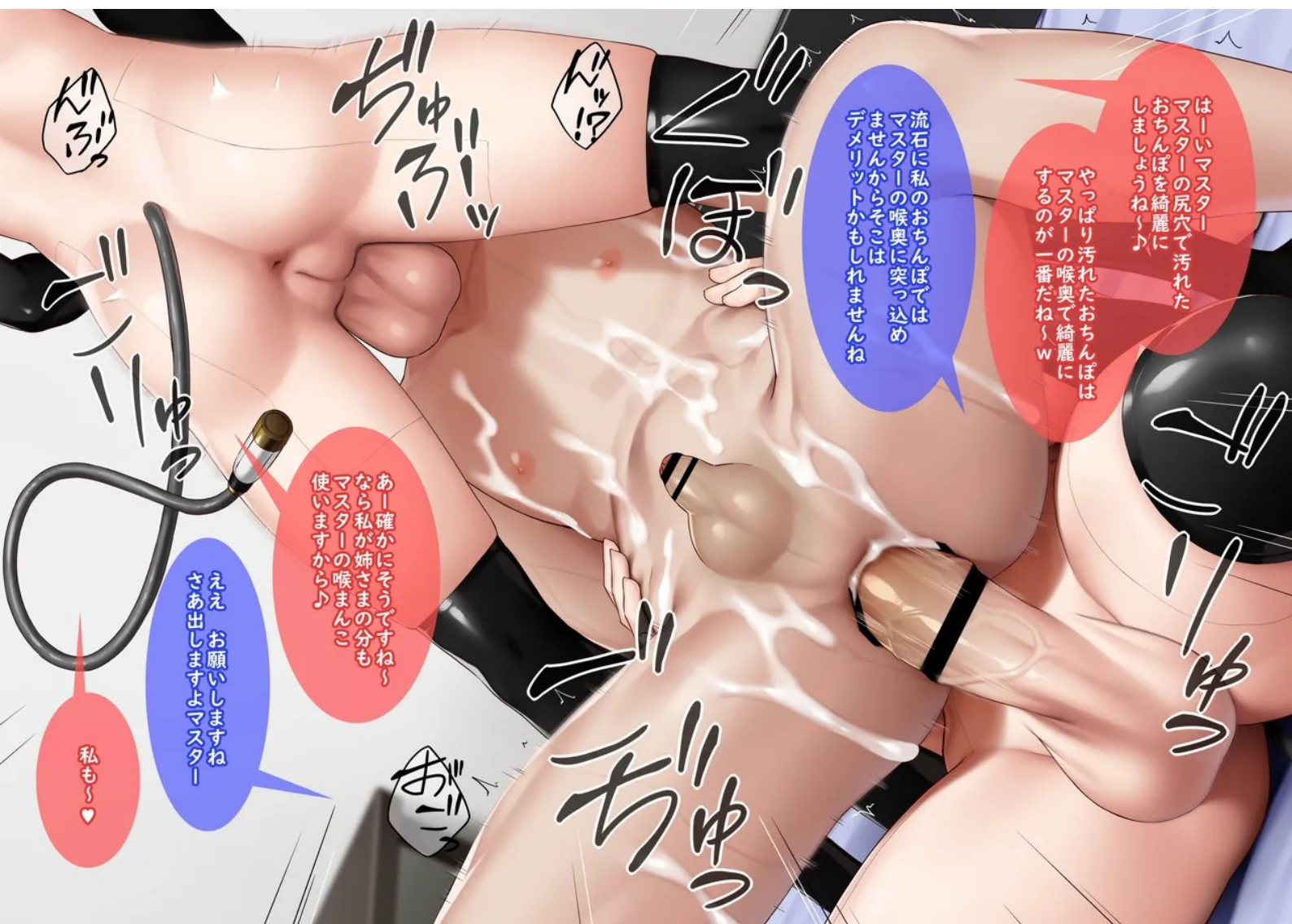
ニキッ

ニキッ

あー

あ





はいマスター  
マスターの尻穴で汚れた  
おちんぼを綺麗に  
しましうねっ♪

やっぱり汚れたおちんぼは  
マスターの喉奥で綺麗に  
するのが一番だねっw

流石に私のおちんぼでは  
マスターの喉奥に突っ込め  
ませんからそこは  
デメリツトかもしれませんね

あー確かにそうですねっ  
なら私が姉さまの分も  
マスターの喉まんこ  
使いますからっ♪

ええ お願いしますね  
さあ出しますよマスター

私もっ♡

ちゅっ  
ちゅっ

んっ!

ほっ

ちゅっ

ちゅっ

んっ!

ちゅっ

おっ!





あゝあゝ  
いっぱい零れてるじゃん  
マスター

ちゃんと全部飲んでよ〜W

マスターは昔から  
よく零す人でしたからね  
そちらの躰は任せましたよ  
サクラ

はーい任せました〜W

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

ポッ

ほっ



そういえばサクラは私の代替機としてこちらに来ていますか？  
今後はどうしますか？

え？それってマスターじゃなくて私が選んでいいんですか？

問題無いでしょう  
マスターは賢い方ですから  
YES以外の返事は  
しないと思いますよ

あはは  
そうなんですわ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



それなら私は  
ここに居たいですねっ  
まだまだ遊び足りませんし♡

でしたら後程  
購入ということ  
手続きを進めて  
おきましょう

マスターには  
頑張っ働いて  
貰うということ

ってことみたいだから  
よろしくねマスター♪

ぬ  
び  
び

び  
び

び  
び



それじゃ今日は  
何時間でもやれますねっ♪

サクラはそんなに  
マスターの事が  
気に入りましたか？

どちゅん

ん？！

どちゅん



だってこんな雑に使っていい  
オナホなんて滅多に  
引けませんよw  
大当たりじゃないですか!

まあ普通の人間は  
どこかで自制心が  
働くものですからね  
こういうのは  
貴重ですから  
潰さないように  
使いましうね

はーい了解でーす♥  
んじゃまた中に出しますよ  
マスター!

ん!?

ぶちゅっ

ちゅっ

ぶちゅっ

ちゅっ

ちゅんっ





それじゃ姉さま  
交代しましょうか♪

おや良いんですか？  
時間はいくらでも  
あるんですから連続で  
やっても構いませんが

時間がいくらでも  
あるからこそですよ♪  
それにマスターの喉の躰も  
しないといけませんし♥

ふうん  
そういえば  
そうでしたね

ニ  
ゾ  
ッ

ニ  
ゾ  
ッ

ニ  
ゾ  
ッ

ニ  
ゾ  
ッ



あーホントですねぇ♡

ふふ  
上からも下からも  
ザーメン注がれ続けて  
お腹も大変なことに  
なっちゃってますね

さてマスター  
またまたおちんぽの  
お掃除の時間ですよ♪  
もう色んな液体が  
混ざっちゃって  
ワケわかんないねぇw

ぬちゅっ

ぐちゅっ



そうですね  
まあいくらでも注いで  
差し上げますから  
どれだけ溢れさせても  
構いませんが

折角注いだモノが  
溢れてきたら勿体ないし  
急いで栓をしないとねw

ちゅっ  
ちゅっ

みちゅっ

んむっ

んむっ

んむっ





わゝ姉さまが尻穴を  
突くたびにザーメンが  
逆流しようとして来るの  
感じますよゝw

これってマスターは  
呼吸出来るのかな？  
大丈夫？w

ザーメンで濡れるなんて  
マスターにとっては  
ご褒美ですからね  
問題ありませんよ

ほら追加のザーメンを  
出しますから  
気張ってくださいね

ハ  
ン  
チ  
ン

ぐ  
ち  
ゅ

ハ  
ン  
チ  
ン

お  
え

お  
え

ハ  
ン  
チ  
ン

お  
え

ほ  
ち  
ゅ



